

東 令和5年度 福井市大東中学校 スクールプラン

【学校教育目標】 豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成

【校訓 めざす生徒像】

「気力」 志を持ち、挑戦し続ける生徒

「自主」 自ら考え、判断し、行動する生徒

「友愛」 互いを尊重し、感謝と思いやりの心をもつ生徒

【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成

【福井市学校教育方針】

学びをつなぐ・未来につなげる

～「つながる」を大切にした学校づくり～

【研究主題】

主体的・対話的な学びを通して、
課題を解決する生徒の育成

わかる授業づくり

【重点目標】・自ら問いをもち、協働で解決する授業の実践

・「学びたい」「わかりたい」がわきあがる授業の実践

【具体的な取組】

・他者と語り合う場、考えを広げ深める場を取り入れた探究的な授業を実践する。

・生徒が「学びたい」と思える課題、次の学びにつながる対話、表現、振り返りの工夫をする。

・個に応じた学習を行い、学びを生徒自身が調整できる場を設定する。(大東タイムの活用)

・他とつながり、学びが高まる ICT の効果的な活用を実践する。

・授業公開、授業参観各々2回以上実施。教科会等で授業改善について意見を交換する場を設ける。

【評価指標】

・授業がよくわかる。(90%)

・課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいる。(90%)

・話し合う活動で、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。(85%)

・ICT 機器を使うのは、学習の役に立つと思う。(90%)

居場所づくり・絆づくり・心づくり

【重点目標】 違いを理解し、判断し、実行する自治的な活動の推進

【具体的な取組】

・人権教育、コミュニティづくりを定期的に行い、他を思いやり認め合う温かな学級、学年をつくる。

・教育相談、いじめアンケートを定期的に行い、いじめ、不登校の未然防止、早期対応に努める。

・成功体験だけでなく、失敗を恐れずに挑戦する場を大切にする。

・生徒主体の自主的・自発的な活動を行い、自己有用感、学校愛を育む。

【評価指標】

・学校では、仲間と過ごすのが楽しい時間や場所がある。(90%)

・いじめを見たら、大人に知らせたりとめたりすることができる。(100%)

・失敗していやになっても、あきらめずに取り組むようにしている。(80%)

・課題を立てて、情報を集め、調べたことを発表する活動に取り組んでいる。(90%)

・学校生活をよりよくするために話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている。(90%)

キャリア教育の充実

【重点目標】

・将来の夢や生き方について考え、実現に向けて学ぼうとする力の育成

・地域や社会とつながる体験活動を通じた学びの推進

【具体的な取組】

・教育活動において、学ぶことと将来とのつながりを実感する場を設定する。

(将来につながる力の明確化、生き方から学ぶ、学びや思いを語る会 など)

・生き方について考え、ライフプランを描く授業を実践する。(『夢へのパスポート』使用)

・地域や社会とつながる体験活動に参加・参画し、自己有用感、自己効力感を育成する。

・学校・学年だよりの定期的な発行、HP でのリアルタイムな情報発信を行う。

(地域、保護者と子どもの成長を共有)

【評価指標】

・将来の夢や目標をもっている。(80%)

・授業で学習したことが、将来、社会に出たとき役に立つと思う。(90%)

・地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思う。(90%)

・地域とつながる行事に参加している。(70%)

・学校だよりやホームページ等を通して学校の様子を適切に伝えている。(保護者 90%)

<生徒の実態>

・明るく人懐っこい。

・物事に真面目に取り組む。

・周りに頼ったり、人に言われて行動したり
することがある。

<保護者の願い>

・夢や希望をもち、歩んでもらいたい。

・物事に粘り強く取り組んでもらいたい。

・学校に子供のことを気軽に相談したい。

<地域の願い>

・気持ちのよい挨拶ができる子になってもらいたい。

・伝統のある中学校でしっかりと学習し、地域を愛し、
貢献できる子になってもらいたい。

【業務改善のための取組】

・学校業務、会議等の精選および効率化 (ICT の効果的な運用) ・水曜ノー残業デー

・超勤時間削減のための各自のマネジメントの推進